ＪＳＴ、さくらサイエンスクラブ「ベトナム同窓会」

４年ぶりに現地（ハノイ）開催

科学技術振興機構（ＪＳＴ）とＪＳＴ主催の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム（ＳＳＰ）」に参加した若者が構成する「さくらサイエンスクラブ（ＳＳＣ）」は、２０１９年３月以来４年ぶりの実開催となる第３回「ＳＳＣベトナム同窓会」を５月27日にベトナムの首都ハノイで開催した。

同窓会のテーマは"Future Us - Motivation and Development"。ベトナム国内から総勢77名の出席があった。

◇

ベトナム同窓会幹事長のラム・クオック・ヒエップ氏および、伊藤宗太郎さくらサイエンスプログラム推進本部副本部長の挨拶に続き、日越友好議員連盟の武部新衆議院議員からのビデオメッセージ、神谷直子在ベトナム日本大使館広報文化センター長より来賓挨拶があった。日越外交関係樹立50周年の節目に、日本とベトナム両国のさらなる関係強化に向けての全面的協力やＳＳＰ事業の発展、同窓生の今後を期待する旨の発言があった。

基調講演では、古田元夫日越大学長からは、「日本の大学・企業との友好関係を担うベトナムの若い人材を育成したい」と、理念の感じられる話があった。

また、コロナ禍前の２０１９年までに１００人を超えるベトナム学生を受け入れている大阪大学の学校紹介を、勝又美穂子在ベトナム大阪大学接合科学研究所准教授が行った。大阪大学での学業、寮生活、地域環境等の話や、日本での生活費の説明もあり、同窓生の興味を引いた。

同窓生の再来日を後押しできるよう、日本学生支援機構（ＪＡＳＳＯ）ベトナム事務所のヴ・ミン・ハイン氏から、日本留学に関しての情報提供（各種奨学金、日本留学試験概要や訪日ベトナム人学生の実績・動向等）が行われた。

◇

共有セッションでは、幹事団の進行で、参加者が携帯アプリを使って日本やＳＳＰに関するクイズを行い、上位５名に景品が贈られた。また、日本への来日時に撮った思い出の写真を同窓会前に募集したところ多数の応募があり、その中から５点を選び賞状及び記念品を伊藤副本部長から授与した。

その後、以前ＪＳＴさくらサイエンスプログラム推進本部に所属し、現在はハノイ在住のファム・ティ・ヌ氏より、日本での経験談が同窓生に共有された。

ヒエップ同窓会幹事長とブイ・ナム氏、マイ・グァン・ジャン氏の対談では、ＳＳＰを通して得た学びが共有され、日本への思いや、各々の再来日希望、日越両国の更なる友好関係を期待する発言があった。

交流セッションでは、同時期に来日した仲間、今回初めて会う同窓生、在ベトナムの大学やＪＡＳＳＯの担当者と自由に交流する場面が多く見られた。

参加した同窓生のコメント

参加した同窓生からは、「楽しい時間を過ごせ、長旅でハノイまで来た甲斐があった」「様々な方々の話を聞けてとてもためになった」「また日本に行って勉強したいと強く感じた」「我々が経験したこのＳＳＰを若い世代の学生達にも経験させたい」「日本留学についての詳細な情報を得たので、すぐに検討したい」などのコメントが寄せられた。

同窓会幹事団と来賓による記念撮影

ＳＳＣベトナム同窓会会場（ベトナム・ハノイ）